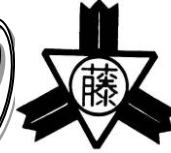


藤ノ森だより 特別号②



平成31年2月28日

京都市立藤ノ森小学校

校長 東原 幹人

☎ 075(641)6305

FAX 075(641)7135

平成30年度後期学校評価の結果

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-s/>

11月末～12月に実施した「学校評価」についての結果がまとまりました。その結果の概要と本校の子どもたちの状況をお伝えします。

一 学校教育目標 一

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、

心身共にたくましく生きる藤ノ森の子

【地域アンケート結果】

地域	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
子どもが、進んで挨拶すること	28.0%	56.0%	8.0%	0.0%	8.0%
	17.6% ▼	52.9%	29.4%	0.0%	0.0% ▼
本校教職員が、教育に対して熱意と誠意を持つこと	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	18.2% ▼	68.2% △	4.5%	0.0%	9.1% △
学校が、子どもの安全確保に気をつけること	65.4%	26.9%	3.8%	0.0%	3.8%
	25.7% ▼	67.4% △	4.1%	0.6%	2.3%
学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信していること	70.4%	25.9%	3.7%	0.0%	0.0%
	15.6% ▼	64.6% △	18.7% △	0.2%	1.0%
学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること	63.0%	29.6%	0.0%	0.0%	7.4% △
	18.5% ▼	77.2% △	3.3%	0.0%	0.9% ▼
学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること	53.8%	42.3%	0.0%	0.0%	3.8%
	16.8% ▼	75.1% △	6.9% △	0.0%	1.2%
学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18.4% ▼	72.8% △	7.7% △	0.0%	1.1%

※上段は7月実施、下段は12月実施の結果です。△は5%以上上がった項目、▼は5%以上下がった項目です。

【地域の方々のおもい・願い】

日頃より、本校の教育活動全般について、ご理解とご協力をいただいている。誠にありがとうございます。特に近年では、登下校の見守り活動をはじめ、様々な場面で子ども達と接し、子ども達の健全な「育ち」の一翼を担っていただいている。また、12月に行った「地域ふれあい学習」には、多くの地域の方々にお世話になりました。今後も、地域の皆様との繋がりを大切にし、子ども達の育ちを促してまいりたいと思います。

結果からも概ね学校の取組に理解をいただいているものの、「よく出来ている」の割合が12月に低くなっています。今後も継続して、教育活動・内容を理解して頂き、応援していただくことができるよう取り組んでまいります。

一方で、特に「子どもが、進んで挨拶すること」については「あまり出来ていない」と感じておられることが分かります。普段の登校中もうつむき加減に歩いている児童や自ら挨拶をすることが少なかつたり大人が挨拶をしても挨拶を返すことができなかつたりする様子が見受けられます。学校の中だけで「挨拶ができる」のではなく、コミュニケーションの第一歩として、地域をはじめとする「自分たちの生活」の中でしっかりと「挨拶できる」姿を目指し、継続して声をかけたり指導したりしていきたいと思います。

また、学校の取組を「タイムリー」に情報発信することも努めていくことで、学校で「いつ」「何を（に）」しているのか、取り組んでいるのかを目にしていくことが、「開かれた学校」への第一歩と考えます。より一層情報発信に取り組んでまいりたいと考えます。

【教職員アンケート結果】

教職員	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	21.7%	65.2%	13.0%	0.0%
	18.8%	75.0% △	6.3% ▼	0.0%
授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、振り返りを行っている。	8.7%	82.6%	4.3%	4.3%
	26.7% △	66.7% ▼	6.7%	0.0%
児童がルールを守ることができるように見守り、支援している。	21.7%	73.9%	4.3%	0.0%
	23.5%	70.6%	5.9%	0.0%
児童が進んで学習に取り組むことができよう働きかけている。	21.7%	65.2%	13.0%	0.0%
	35.3% △	64.7%	0.0% ▼	0.0%
児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	21.7%	73.9%	4.3%	0.0%
	43.8% △	50.0% ▼	6.3%	0.0%
誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	30.4%	60.9%	8.7%	0.0%
	43.8% △	56.3%	0.0% ▼	0.0%
児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。	21.7%	56.5%	21.7%	0.0%
	26.7% △	53.3%	20.0%	0.0%
教職員自らがていねいな言葉づかいを心掛けている。	8.7%	69.6%	21.7%	0.0%
	29.4% △	58.8% ▼	5.9% ▼	5.9% ▼
教職員自ら進んで挨拶をしている。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%
	41.2%	52.9% ▼	5.9% △	0.0%
児童が人や物を大切にできるよう指導している。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%
	37.5%	56.3%	6.3% △	0.0%
児童が掃除や整理整頓の習慣がつくよう働きかけている。	13.0% ▼	73.9%	13.0%	0.0%
	25.0% △	62.5% ▼	12.5%	0.0%
児童が進んで体を動かすことができるようすすめている。	21.7%	56.5%	21.7%	0.0%
	26.7% △	53.3%	20.0%	0.0%
児童の読書習慣が定着するよう働きかけている。	8.7%	65.2%	26.1%	0.0%
	13.3%	46.7% ▼	40.0% △	0.0%
児童の良さを積極的に見つけ、認め、褒めるようにしている。	34.8%	56.5%	8.7%	0.0%
	56.3% △	37.5% ▼	6.3%	0.0%
各おたよりやHPで学級や児童の様子を伝えている。	18.2%	54.5%	22.7%	4.5%
	13.3%	53.3%	20.0%	13.3% △

【教職員の結果から】

学校での教育活動の基本は「授業」にあります。その授業の中で、子ども達の「よさ」を引き出すことができるよう日々授業改善に取り組み、子ども達がより一層「知る楽しさ」、「分かる喜び」を感じ、意欲的に学習に向かうことができるように努力を重ねてまいりたいと考えます。

「宿題・家庭学習」、「読書」については、家庭との連携が必要不可欠です。特に読書習慣については、働きかけに課題を感じています。図書に親しむことにより、読解力の向上や活字への慣れなど期待できる力は多岐にわたります。学校図書館を活用した取組を推進していきたいと思います。また、上記の取組を積極的におたよりはもとより、ホームページを通して様子をお伝えできるように情報発信してまいります。

最後に、教育活動における最大の教育環境は「人」です。相手の事を考えて「話をする・話を聞く」態度の育成は、人権教育の第一歩です。教職員自身が言葉を大切にする姿勢を持ち、言葉を通してより良い教育環境を創り上げていきたいと考えます。来年度も、すべての子ども達の笑顔あふれる学校づくりに邁進してまいりたいと思います。

